

テーマ：がん登録は患者にとってどんなメリットがあるのか

講師：祖父江友孝 医師

(国立がんセンターがん予防・検診研究センター情報研究部)

日時：2007年3月17日(土) 午後1時半～3時半(予定)

場所：東京医科歯科大学付属病院 B棟16階 第一セミナー室(40人)

(東京都文京区湯島 1-5-45 TEL:03-3813-6111(代))

交通：JR 東京駅より中央線にて御茶ノ水駅下車 御茶ノ水橋渡って正面
地下鉄丸の内線御茶ノ水駅下車すぐ

日本のがん医療を良くしていくために、皆様が日々ご努力されていることに敬意を表します。さて、4月1日よりがん対策基本法が施行されます。国の段階、地域の段階でがん対策の基本計画が策定されます。がん対策基本法の付帯決議3項にあるように、がん患者が政策立案過程に参画することは、本当に画期的なことです。患者会として幅広く横の連携・連帯・協力をして、政策に患者・家族の切実な要求を反映させていくことが大事です。

がん医療を良くしていくための勉強会を企画しました。

がん対策基本法の附帯決議 16 項は「がん登録については、がん罹患者数・罹患率などの疫学的研究、がん検診の評価、がん医療の評価に不可欠の制度であり、院内がん登録制度、地域がん登録制度のさらなる推進と登録精度の向上ならびに個人情報保護を徹底するための措置について、本法成立後、検討を行い、所要の措置を講ずること」と定めています。

しかし、がん登録の必要性を認識している患者にとっても、「わがままかも知れないけど、がん登録は私自身にはどういうメリットがあるのか」「個人情報保護は本当に大丈夫なのか」「知らないうちに情報が集められるのではないのか」などの疑問がつきまといまいます。

そこで今回、「がん登録」について、現在の仕組みと課題、患者とのかかわり・メリットはなにか、世界の動向、患者が参画していく意義など、専門家の祖父江友孝医師を招いて学ぶことにしました。質疑・討論の時間も若干設けます。

ご参加をお待ちしています。

2007年2月25日

内田絵子・金井弘子・中野貞彦・浜中和子・三浦秀昭

連絡先・申込み先：内田絵子(うちだえいこ) 〒190-0022 東京都立川市錦町 2-12-31

TEL:090-6495-5856 FAX:042-523-4280 e-mail: eiko-u@yd6.so-net.ne.jp

参加費：無料 お申込み締切り：3月15日(木)

.....

【経過】 がん患者団体支援機構と日本がん患者団体協議会(JCPC)の一本化推進委員(6人)が話し合いを行った結果、ゆるやかな連合をめざし、勉強会を行う、その際に個人参加、世話役は任期一年、協議して運営する、お互いを尊重し誹謗・中傷をしない、他の患者会にも参加をよびかける、などのことを決めました。第一回勉強会の世話役は一本化推進委員が行うこととしました。なお一本化推進委員の一人の方は、「話し合いの結果」の作成発表への当初の合意を取り消されたので、呼びかけ人に入っていません。